

介護人材資格取得・就業促進事業について

1 目的

介護の仕事に関心のある者の資格取得・就業を一体的に支援し、多様な介護人材の新規就業を促進することにより、介護スキルに応じた介護業務の役割分担及び介護サービスの安定的な供給体制整備を図る。

※ 介護フェアの開催、生活援助員資格取得促進事業、訪問系サービス事業所介護従事者等資格取得支援事業（新型コロナ対応として令和2年度限りで実施）を整理・統合したもの。

2 事業の内容

(1) 初任者研修資格取得・就業支援

介護実務の入門的な資格である初任者研修を修了し、介護人材として就業する人を増やすため、介護施設・事業所への就業を希望する者に対して、初任者研修の資格取得及び就業支援を委託により一体的に行う。

ア 介護職員初任者研修の開催

介護施設・事業所への就業希望者を募集し、介護職員初任者研修を開催する。

① 受講料

研修実施機関が定める受講料のうち、市負担分2万円の残額を受講者が負担

② 受講対象者

介護の仕事への就業を希望し、介護の仕事にかかる資格を有していない者

③ 受講者数見込数

20名

イ 就業支援

アの修了者に対して、面談等によるカウンセリングや職業紹介により個別に就業支援を行う。

ウ 定着支援

イの就業者に対して、勤務開始から一定期間経過後、相談等の定着支援を行い、離職防止を図る。

※ 委託先として職業紹介事業者を想定（プロポーザルにより選定）。初任者研修については再委託も可。

(参考) スケジュール

4月～6月 プロポーザルによる受託事業者公募実施準備

10月以降 初任者研修・就業支援

(2) 生活援助員の確保に向けた取組(旧生活援助員確保促進事業)

介護未経験者であってもなじみやすい生活援助特化型訪問サービスに従事する生活援助員の養成数及び従事者数を増やすことにより、介護スキルに応じた役割分担を進めるため、資格取得促進のための奨励金の支給のほか、市が主体となって実施する生活援助員研修の修了者に対する就業支援を行う。

※ 生活援助員研修：介護の必要度が比較的低い要支援1、2の方の自宅で掃除・洗濯・調理等の日常生活のサポートをする生活援助員の資格を取得するための研修

ア 生活援助員資格取得奨励金の支給

広島市生活援助員研修を修了した場合に、奨励金（1人当たり1万円）を交付する。

【交付対象者見込み】

80人

イ 就業支援

市主体による生活援助員研修の修了者のうち、就業支援を必要とする者に対して、面談等によるカウンセリングや職業紹介により個別に就業支援を行う。

※委託先として生活援助員研修実施機関の指定を受け、かつ職業紹介事業者である団体を想定

【支援対象者数見込み】

40名

(参考) 平成28年度～令和2年度

修了者数 247名

奨励金交付者数 147人